

CD クリーナーの効果(7)
—アナログプレイヤーへの適用(3)—

1. 始めに

前報(6)に引き続き、アナログプレイヤーへの適用での効果を確認します。

2. CD クリーナーの試聴計画

アームは Ortofon RMG-212 で、このアームとヘッドシェルと Thorens TD124 のセンタースピンドルおよびベルト・アイドラー駆動のターンテーブルを処理対象とします。

今回の再生系は、次のとおりです。

Thores TD124→ZANDDEN Model 120→Brooklyn DAC+→TruPhase

試聴するアナログ盤は前報(4)でも使用し、CD クリーナーで処理したもので、次のとおりです。

Deutsche Grammophon 483-6927/6928/6929

J.S.Bach Sonatas & Partitas

Nathan Milstein (Vn)

ドイツグラモフォン MG9551

ベートーヴェン 三つのピアノソナタ (選帝侯のソナタ)

グザ・アンダ (ピアノ)

LONDON KLJC-9180/9184 (RTI/キングレコード)

リヒャルト・ワーグナー ワルキューレ全曲

ゲオルグ・ショルティ指揮ウイーンフィル

EMI AA 9117・C

フリードリッヒ・ヘンデル メサイア

オットー・クレンペラー指揮フィルハーモニア

3. CD クリーナーの試聴結果

最初に CD クリーナーの処理なしで聴いておき、処理後に聴き直します。

アームの RMG-212 の処理は、パイプと支持体とカウンターウェイトについて行います。

TD124 のカートリッジは、Ortofon SPU Synergy で、華やかで押出のある音がしていますが、CD クリーナーの処理を行いますと、以下のような結果が得られました。バッハの無伴奏ヴァイオリンソナタ・パルティータでは、スリリングな演奏に緻密さ

と滑らかさがくわわってきます。

ベートーヴェンの三つのピアノソナタ（選帝侯のソナタ）では、もともと華やかで押出の良い音ですが、緻密さと優雅な表現力が加わってきます。

ワーグナーのワルキューレでは、迫力のある再生ぶりに緻密さが加わり、金管の切れが出て、ソプラノやメゾソプラノの歌唱も明晰になり、低音の音階がわかりやすくなります。

ヘンデルのメサイアでは、合唱の分離が向上し、ソプラノや弦の細かい表現が出てきます。バスは伸びやかで、トランペットは一段と華やかになります。

なお、TD124 のターンテーブルシートは TEAC の和紙のターンテーブルシート TA-TS30UN で、盤はターンテーブルアキュライザーとの間に挟まれた状態になっています。

4. まとめ

RMG-212 のアームとヘッドシェルと TD124 のセンタースピンドルおよびベルト／アイドラー駆動のターンテーブルへの CD クリーナー処理の効果を認めました。

以上